

平成29年度 高鍋高校OB祭

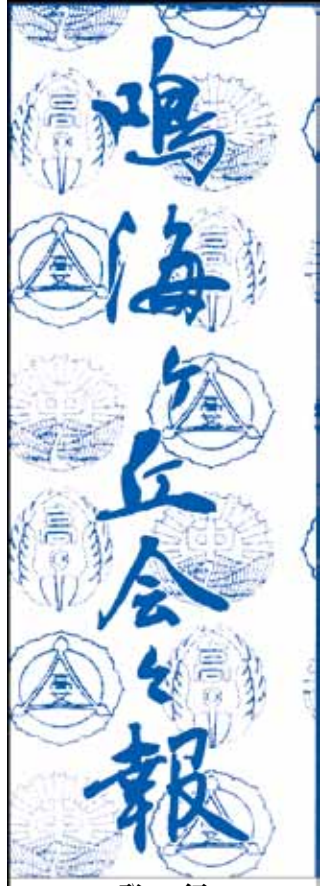
『楽しむ』



8月12日(土) 記念講演『命の授業』

講師 **ゴルゴ松本さん** (お笑いコンビTIM)

1967年4月17日生まれ(50歳)埼玉県深谷市(旧・大里郡花園町)出身。2014年より深谷市親善大使として活動。高校時代は埼玉県立熊谷商業高等学校野球部に所属。第57回選抜高等学校野球大会(85年春のセンバツ)出場。1994年にレッド吉田とお笑いコンビ「TIM」を結成。ワタナベエンターテインメント所属。2011年から少年院でのボランティア講演の活動をスタート。『命』などの漢字を体現するギャグでおなじみのゴルゴ松本氏。『命』『言葉』『人生』『日本人』をテーマに漢字、歴史の話などを加え、笑いを交えつつ、魂のこもった熱い授業を展開。その活動は後にフジテレビ『スーパーニュース』『ジャネーノ』『ノンストップ』、TBS『金スマ』、その他新聞・雑誌等で取り上げられ大きな反響と話題を生む。放送された番組はYahooの急上昇ワードにトレンド入り。YouTubeでは200万を超える再生回数を記録し、ネットでも話題となる。2014年12月には法務省東京矯正管区から表彰される。



発行
宮崎県立高鍋高等学校
同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町
大字北高鍋4262

TEL 0983・23・0005
FAX 0983・23・5096

URL <http://www.narumigaoka.jp/>



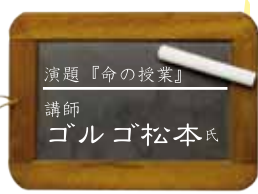
平成29年度高鍋高校
OB祭実行委員会
HPはコチラから



OB祭日程

- ◆平成29年8月11日(金・祝日)
7:25～終日 OB祭ゴルフコンペ
会場：宮崎座論梅GC
- ◆平成29年8月12日(土)
12:00～13:30 ①鳴海ヶ丘会総会
場所：高鍋町中央公民館会議室
- 13:30～ ②OB祭
場所：高鍋町中央公民館ホール
- 13:30～14:30 オープニングイベント
在校生による吹奏楽演奏・書道パフォーマンス
- 14:30～16:00 記念講演『命の授業』
講師：お笑いコンビTIM ゴルゴ松本氏
- 17:30～19:30 ③OB祭懇親会
(17:00受付開始) 場所：ホテル四季亭

主催：鳴海ヶ丘会(宮崎県立高鍋高等学校同窓会)
主管：平成29年度高鍋高OB祭実行委員会(平成6年卒)
後援：高鍋町



平成29年度高鍋高校OB祭実行委員会を代表してご挨拶申し上げます。私たちが平成6年卒業生は昨年8月に準備委員会を立ち上げ、歴史と伝統ある高鍋高校OB祭を担当する大きな責任と喜びを感じながら、準備を進めてまいりました。この間、鳴海ヶ丘会の皆様や、高鍋高校学校関係者の皆様、そして地域の皆様にご支援ご協力をいただいた事、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

さて、今年度のOB祭は「楽しむ」をテーマに掲げました。同級生と共にOB祭を担当できる事、今までどおりではなく自分達らしく失敗を恐れず前向きにチャレンジする事、参加していただく皆様に喜んでいただく事、そして担当する私たち実行委員会全員が楽しむ事への想いを込めました。

先輩方の素晴らしい伝統を受け継ぎながら、自分達らしく楽しむ気持ちを持って、後輩に引き継ぎたいと考えています。記念講演会では、お笑いコンビTIMのゴルゴ松本氏を講師としてお招きし、「命の授業」をしていただきます。ゴルゴ松本氏は2011年からボランティアで少年院に出

向き、様々な言葉や漢字の成り立ちを解説しながら、命の素晴らしさ、日本語の素晴らしさ、感謝の大切さを伝える活動を行っています。ぜひ、ゴルゴ松本氏の熱い授業を体感してください。

また、オープニングイベントではOB祭を通じて現役高校生と交流することを目的に高鍋高校文化部のご協力をいただいております。日々頑張る高校生の姿をご覧ください。

その他、恒例のゴルフコンペや大懇親会など盛りだくさんの内容をご用意しておりますので皆様のご来場をお待ちしております。

最後にありますが、高鍋高等学校と鳴海ヶ丘会の更なる発展と皆様のご健勝をお祈りいたしまして挨拶とさせていただきます。



平成29年度高鍋高校
OB祭実行委員会

実行委員長 林 健太郎

平成29年度 高鍋高校OB祭の開催について

「真善美 これぞ我達の理想なる」という校歌の一節は、私が高校生の時から現在に至るまで心に鳴り響いている。本校に教員として赴任した初日、正面玄関に掲げられたこの一節の書に込められた魂を感じ、身が引き締まる思いがした。校舎を歩くと、高校生だった頃の自分の思いが湧き出てきて、心がときめいた。あの頃の自分から「初心に戻れ」と言われているような感覚だった。苦しかったけれど楽しかった勉強やピアノ、大好きな先生や沢山の友人達、大切な家族、優しい地域の人々。多感な時期を充実して過ごさせてもらったことにあらためて感謝の念である。

高鍋高校は、私にとって神聖な場所である。緊張で力みそうになった自分を解きほぐしてくれたのは、そこに集う人々。笑顔で挨拶、いつも誠実な生徒達。高鍋高校ここにありと熱心に教育活動に励む先生達。校舎や校庭も温かく包みこんでくれるが、今年の夏は高温すぎて少し心配。頭はクールに、心はホットでいきたい。初心に戻って、しなやかにたくましくいきたい。

高校から見える景色は、今も変わらず自然豊かで美しい。聞こえてくる様々な音色は、発する人や物は違えど、なぜか変わらない。この地には、伝統の気が脈々と流れている。その古き良き伝統の恩恵を受けながら、新しい社会の変化に対応できる思考力や感性を磨いていく。詰め込みでは、思考力や感性は研ぎ澄まされない。心のゆとりやバランスを大事にすること、文化の華が咲く。またここで教えていただいたことである。

自分自身の「真善美」を形にするその日まで、何年かかかるか先が見えないが、信念をもって日々努めていきたい。

芸術科 岩切佳代子

なんきんはぜ

ふるさと訪問に伴う交流会について

ふるさと訪問で宮崎県を訪れた近畿宮崎県人会の方々が、4月22日(土)に本校に立ち寄られました。玄関前で歓迎行事が行われ、黒木敏之高鍋町長が歓迎の挨拶を述べました。

歓迎式典には生徒会役員や野球部員も参列しました。その後一行はグラウンドに移動し、ラグビー部の練習風景を見学しました。また、ラグビー部の激励会が行われ、近畿宮崎県人会の貫会長が激励の言葉を贈りました。



平成29年度 出身中学校別生徒数

出身市町村	出身中学校	普通科						生活情報科						計		総計		
		1年		2年		3年		1年		2年		3年		男	女			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
高鍋町	高鍋東	19	24	31	16	26	17											145
	高鍋西	26	18	22	17	24	15											132
	計	45	42	53	33	50	32	0	6	0	8	5	7	27	34	61	277	
新富町	富田	9	6	5	6	13	8											61
	新田	2	5	6	1	2	4											20
	上新田	5	4	1	1	2	1											16
	計	16	15	11	8	17	13	0	4	0	6	0	7	44	53	97		
木城町	木城	8	14	11	5	8	7											58
	国光原	7	4	9	14	3	4											51
	唐瀬原	13	6	14	17	11	20											93
	計	20	10	23	31	14	24	0	4	0	11	1	6	58	86	144		
都農町	都農	12	8	12	5	8	9											68
	美々津	1		3	2	1												9
	日向																	1
	日向																	1
	富島																	1
	大王谷																	1
	計	1	0	4	3			0	3	1	0			6	6	12		
西都市	穂北	2	1	5	1	2	3											16
	都於郡	1	1															2
	三納			2	1	3												7
	三財			1	1	1	1											6
	妻	4	5	2	1	2	1											15
	計	6	9	10	6	5	6	0	1	1	1	0	1	22	24	46		
	久峰	1	3	4	6	6	3											34
	広瀬	1	5	1	3	1	1											14
	佐土原	1			1													6
	大宮					1												1
	東大宮	2		1		1												5
	住吉	2		1		2												6
	楳	1																1
	日章学園					1	1											1
	宮崎東																	1
	宮崎北					1												1
	宮崎西	1			1													1
	木脇	1																1
	田野						1											1
	赤江			1														1
	本郷			2														2
	宮崎	1			1													2
	宮大附																	1
	計	11	9	10	12	13	6	0	6	0	7	0	6	34	46	80		
東諸島	綾					1												1
西	小林			1		1												2
	北浦	1				1												2
	東海																	0
	恒富						1											1
	門川				3													3
	三ヶ所					1												1
	諸塚			1														1
	椎葉																	0
	計	1	0	1	3	2	1	0	0	0	0	0	0	4	4	8		
都城市	庄内				1													1
	沖水																	0
	鶴戸								1									0
	福島	1																1
	吾田					1												1
県外		1		3														4
旧学区外中学校		21	18	29	25	24	13	1	10	2	8	0	8	77	82	159		
総計		122	107	139	107	121	98	1	30	2	37	4	35	389	414	803		
			229		246		219		31		39		39		803		803	

◆ 平成28年度 進路状況 ◆

1. 進学・就職合格者数(過去5年間)

種別	国立大学			公立大学			準大学			私立大学			短期大学			専修看護		専修学校		就職	
	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現	過	計	現	役	現	役	現	役
28	38	2	40	17	0	17	2	0	2	120	3	123	30	0	30	11		67		23	
27	40	5	45	19	3	22	0	0	0	81	8	89	27	0	27	14		53		32	
26	39	5	44	19	3	22	3	0	3	72	5	77	33	2	35	14		53		34	
25	25	7	32	14	1	15	0	0	0	93	10	103	30	0	30	15		57		38	
24	29	12	41	13	1	14	1	0	1	87	18	105	23	0	23	18		73		34	
合計	171	31	202	82	8	90	6	0	6	453	44	497	143	2	145	72		303		161	

※準大学は、防衛大、防衛医科大、水産大、気象大、職業能力大、看護大。

2. 主な大学年度別合格者数(過去5年間、含過年度生)

大学名	国立大学					合計	私立大学					合計
	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
北見工業					1	1						1
岩手		1				1						1
茨城			2			2						2
筑波	1					1						1
宇都宮				1	1	2						2
千代田	1					1						1
お茶の水女子				1	1	2						2
東京学芸		1				1						1
東京芸術		1				1						1
電気通信		1				1						1
信州	1					1						1
福岡					1	1						1
愛知教育	1					1						1
大阪	1					1						1
奈良教育	1					1						1
奈良女子					1	1						1
島根	1		1			2						2
岡山	1					1						1
広島			1	1	2	4						4
山口		1	1	1	1	4						4
香川			1			1						1
高知		2	3	2	1	8						8
徳島					2	2						2
愛媛					1	1						1
福岡教育	3		1		4	8						8
九州	3	2	1	1	1	8						8
九州工業	2	1	1	1	1	6						6
佐賀			1	3	4	8						8
長崎	1	2	2	2	1	8						8
熊本	2	3	1	4	1	11						11
大宮		2	3	1	1	7						7
宮崎	16	13	19	18	16	82						82
鹿児島	4	1	3	4	12	24						24
琉球	1	1	3	2	2	9						9
大分												
国際教養	1					1						1
都留文科大学					1	1						1
首都大学東京					1	1						1
横浜市立					1	1						1
愛知県立	1					1						1
京都府立					1	1						1
福知山公立					2	2						2
大阪市立				1		1						1
神戸市立看護			1		1	2						2
兵庫県立				1		1						1
尾道市立			1			1						1
広島市立			1			1						1
島根県立	2		1			3						3
下関市立		3	4			7						7
山口県立				1		1						1
山口東京理科大学					2	2						2
高知県立				1		1						1
高知工科					1	1						1
北九州市立		2	1	3	4	10						10
福岡県立		3				3						3
長崎県立		1	3		2	6						6
宮崎公立	6	3	5	7	4	25						25
宮崎県立看護	3	3	2	3	1	11						11
沖縄県立看護				1		1						1

表彰関係

大会名	競技・部名	個人or団体	競技種目	成績	学年	氏名	上位大会	
平成29年度 宮崎県 高等学校総合体育大会	ラグビー部	団体	15人制	優勝			九州大会(鹿児島) 6/17~	
	ホッケー部	団体		優勝			九州総体(大分) 6/17~	
	ボート部			女子舵手付クオドルプル	優勝			インターハイ
				男子シングルスカル	優勝	3	松田 大和	インターハイ
				男子ダブルスカル	優勝	3	山崎 航太	インターハイ
		団体		女子総合優勝	優勝			
	剣道部	個人		女子個人	2位	3	五十嵐優子	インターハイ・全九州大会(宮崎)
		個人		女子個人	3位	3	深田 晶	全九州大会(宮崎)
		団体		女子団体	3位			
	陸上部	個人		男子100m	3位	2	有吉 勇汰	南九州大会(熊本) 6/15~
		個人		男子200m	4位			
	水泳	個人		女子50m自由形	4位	2	関屋 李菜	全九州大会(長崎)
		個人		女子100m自由形	4位			
		個人		男子50m自由形	8位入賞	3	今井 翼希	

「九州大会を振り返って」

ラグビー部監督

榎室 秀幸

歴史が動いた。6月に鹿児島市で行われた九州大会の一回戦で全国大会優勝の経験もあり、昔から目標にしている強豪大分舞鶴高校と対戦した。私の現役時代以降、公式戦で24年もの間負け続けている相手だ。2月の九州新人大会でも20点近く差をつけられ負けたが、その敗因も分析出来ていたし、春の全国選抜大会での成長も感じていた。今回は自信を持って試合に臨んだ。前半こそ互角の戦いになったが、後半は持ち前の運動量の多さで徐々に差を広げ終わってみれば何と30点近くも差をつけての歴史的な大勝となった。少しだけだが歴史が動いた気がした。もちろん、まだまだ越えなければならぬ壁があるが、今回の勝利は少しづつ、着実にチームが成長している証だと信じたい。九州3位入賞出来たことを素直に喜ぶたい。



ラグビー部

「南九州大会を終えて」

陸上部 三年

有吉 勇汰

南九州大会に参加して、レベルの高さを実感しました。県内ではスタートで負ける事はないというくらい自信をもっていました。しかし南九州大会では半分近くの人と同じレベルかそれ以上のスタートを速くしていました。つまりスタートが速くても勝てません。スタート、中間走、後半の爆発力すべてがそろって初めて上位大会でも戦えます。このことを理解できたことが、今回の九州大会で一番の収入です。南九州大会で学んだ事をしつ

かり後輩へ伝え、後輩にはもつと上の大会まで進出してほしいです。最後に、上には上がいるという事を忘れず、何事においても日々成長していきたいと思えます。



陸上部

「日向市美術展準特選を受賞して」

美術部 三年

田中 佑姫乃

津江先生のご指導のもと描いた作品で、とても多くの技法を学んで納得いくまで描き上げました。卒業後もずっと絵に関わっていきけるように残り少ない高校生活の一日一日を大切にしたいと思えます。

美術部顧問 津江 政彦
田中さんは絵を描くことに限らず、どんなことに対しても真摯に、また礼儀正しく取り組みます。夢を叶えてください。



美術部



明倫奨学生 近況報告

平成26年度 奨学生

馬渡 大輝

最近の生活について報告したいと思います。今学期ではこれまでの学期と同じように授業に出席し、試験を受けて単位を取得することができました。単位数に関しては、卒業に必要な単位数から4年生の卒業研究で取得することのできる単位数を差し引いた単位が認められたため、次の学期では卒業研究に集中することができるようになりました。また、今学期では仮配属された研究室での輪読やゼミを通して、その分野における基礎的な知識や考え方を、最近の研究内容をおおまかに知ることができました。特に、輪読においては英語で書かれた教科書を用いたことでその分野の初等的な内容だけでなく、英語の文章を読む際の技術も身につけることができました。サークル活動やアルバイトに関して取り組むことができませんでした。

来年度は学年が一つ上がり、4年生となります。まずは、卒業するため卒業研究に計画的に取り組むたいと考えています。また、研究室のゼミも開始されるので資料をまともな発表方法に身に付けられるよう工夫したいです。さらに、それと同時に大学院への進学を考えているため、八月末の試験に向けての勉強に取り組むたいと思っています。

平成27年度 奨学生

小松 愛沙美

大学に入学して2年が経ち折り返し地点にきました。講義の内容もより実際の現場を意識出来るものとなってきました。理論的なことに限らずに実際に体

験してみる演習が増え、座学だけでは現場では通用しないという事を日々実感させられています。その演習の中で木城町のフェイールドワークもしました。木城町で1泊するなかで、住民の方にインタビューして、木城町の様々な施設などを訪問して活動を体験して、そこで見た木城町の良い点と改善した点より良くなる点を学生の目線で木城町に提案するというものでした。それを1年で2回しました。そこでは、講義で学んだソーシヤルワークの援助技術を使い住民の方から話を聞きました。なかなか思うように話が聞けなく、自分の技術のなさを実感させられることもありましたが、そこで得られた情報を学校に戻りグループでまとめ、発表をしました。まとめることはできましたが、発表となると別物でした。日頃、発表するとしても顔見知りでも人数も限られています。ここでは、木城町の町長をはじめとする役員の方の前で発表しました。発表内容が頭の中に入っていないと上手くできません。これに関しては、準備を万全にする事や経験をより積むなどしていき、これからの演習や実習で生かしていきたいです。

生活面では、勉強をしながら生活費の為にアルバイトもしています。アルバイトでは、業務の面だけではなく様々な人と出会い、それがとても意味あるものとなることがありました。出会いの大切さというものを改めて実感しました。これからの様々な人と出会い成長していきたいです。3年の夏休みには、24日間の社会福祉士現場実習がありました。前期はそれに向けての勉強が中心となります。事前学習と実習ともに、とても大変になると思えます。しかし、自分の夢を叶えるために頑張りたいです。

平成28年度 奨学生

生島 絵美子

私が甲子園大学栄養学部栄養学科に入学してまもなく1年が経とうとしています。夏から今までの近況を学校生活・私生活に分けて報告します。まず学校生活についてです。夏季休暇が終わってすぐにヤクルト三木工場や動物愛護セン

ターで研修がありました。ヤクルトではどのように製品を製造・管理をしているかを学び、動物愛護センターでは動物をどのように保護し次の飼い主に渡すのかを知り、命の尊さを改めて実感することが出来ました。また、後期の授業は基礎的な教科から、より専門性を増した教科に変わり、覚えることが多くありましたが、学ぶことがあり、楽しく授業を受けることが出来ました。実習や実験も増え、レポートを書く機会も多くなり、徐々にレポートの書き方が分かってきました。友達とも仲良く過ごしており、とても充実した日々を送っています。

そして、私は「甲友会」という生徒会のような組織に所属しています。11月には文化祭があり、先輩方や仲間と協力して無事成功させることが出来ました。その後、新体制となり私は渉外という大切な役割を担当することになりました。次年度もオーブンキャンパスや文化祭が盛り上がるよう頑張ります。ここからは私生活についてです。

私は今も叔父と2人暮らしをしています。前期よりも授業数や実験等が増えたりため帰りが遅くなることも多々ありましたが、夕食は基本自分で作っています。しかし、まだまだ未熟者なので叔父から様々なことを学びます。また、夏季休暇や春季休暇で地元に戻省するときには、高鍋で管理栄養士として働いている本部分さんと連絡を取り合い、自分が参加できるものには進んで取り組んでいます。内容としては地区の高齢者の方との調理実習や保育園クッキング等があります。どんな人を対象にするかで指導の仕方も変わるのでとても勉強になります。また食育がいかに大切かを実感できるので、実習を通して、ますます管理栄養士になりたいという思いが強くなりました。就職は宮崎でいたいと思っているので、その夢が叶えられるよう、これからも努力していきます。

